五條小学校通信
2008年５月14日
第２号

かけはし

心豊かに　ことば豊かに

読み取り、伝え合い、高め合う授業づくり

本校では、数年前からコミュニケーション能力の育成をめざして、主に国語科を中心に研究を進めてきました。その結果、ほんの少しずつではありますが、自分の思いをみんなの前で話せるようになったなどの成果が見られるようになりました。

また、昨年度からは、『心豊かに　ことば豊かに』をテーマとして、「読む」領域に重点を置き、互いの思いを語り合い、より豊かなコミュニケーション力を身に付けられるよう取組を進めてきました。本年度もその取組を進め、文章に書かれていることを読み取る力、読み取ったことを相手に分かりやすく伝える力、伝え合うことで互いに高め合う力を育てていきたいと考えています。朝の十分間読書「ときめきタイム」や基礎基本の時間の充実、積極的な図書活用や言語環境の充実にも引き続き取り組み、国語の学力向上と豊かな人間性や感性を育てていきたいと考えています。

ところで、家庭の中での子どもたちの様子はどうでしょうか。本来、家庭とは、人格形成の第一歩となるところです。ところが、その家庭の中で子どもたちの相手をしているのは、もっぱらテレビやゲーム。一方的に入ってくる受け身な情報を見ながら、人をバカにしていようがそんなの関係ねえとばかりに、ただただおもしろければいいという感覚を育てています。また、お金で買った遊び（擬似世界）にのめり込み、リセットすれば生まれ変わる命を相手に暴力的な言葉や行為を覚えていきます。その他にも、塾通いや、携帯電話・メールによる問題…。最近、にわとり症候群という言葉も聞きました。独りで食べる孤食、朝食を抜く欠食、家族がばらばらなものを食べる個食、好きなものばかり食べる固食。この頭文字を並べるとコケッココとなるので、にわとり症候群と言うそうです。

一般的に言われているこうした現状と比べて、みなさんの家庭はどうでしょうか。親子の会話を通じてほっとできる家庭の雰囲気を作っていただくとともに、家庭と学校との連携を強めることで、心豊かな、ことば豊かな子どもを育てていきたいと考えています。今後とも、ご協力をよろしくお願いします。

温かな親子のふれあい

５月２日の学習参観の後に書いていただいた感想を一部抜粋して紹介します。（今回は６年生）

○６年生になって初めての参観でした。１年生の授業を観ていたため観たのは少しの時間だったのですが、１年生に比べて６年生が大きく見えて、この子たちも６年生になったのだと実感しました。忙しい毎日の中で、子どもたちから学校のことを聞くことでしか様子は分からないのですが、参観に行く度にうれしそうで恥ずかしそうな顔は６年間変わっていなくて、私自身も充実した時間を過ごさせていただいたと思います。「今日の参観は来てくれるの？」と言ってくれるのは、まだまだ気持ちは１年生と同じなのかな？とうれしく思いました。

○いつも自分の仕事の都合等で後回しになっていた娘の参観ですが、今回時間をとり教室の後ろ中央で、授業を一緒に受けさせていただくことができました。クラスのお友達の、間違いをおそれず手を挙げて発表するハツラツとした姿を拝見し、学ぶことの楽しさを改めて味わう時間をいただけたことをうれしく思っています。小学校の勉強というと、物事の表面だけをさらりと通過する！というイメージがありましたが、一つのことを深く掘り下げて勉強することで、「知りたい！学びたい！」という意識の輪が広がり、やらされるのではなく自らつかみ取る楽しい勉強法に変えていけるのではないかという大きな可能性にも気付かされました。

ゴールデンウィークの最終日、早速家族で大仏殿を見に行き、らほつやミニ大仏を確認してきました。

ご意見ご感想をお寄せください。